



公民館報

海陽

4月号
No.100

文化村HP
QRコード



QRコードに
アクセスすると
海南文化村HPが
閲覧できます。

海陽町教育委員会 2024年4月1日発行

令和5年度 海陽町公民館大会



講演を行っている、石井町中央公民館 社会教育指導員の片岡伸世氏

令和5年度 海陽町公民館大会

テーマ：「学びから始まる地域づくり」
～特色を活かした地域づくり～

令和5年度公民館大会は、「学びから始まる地域づくり」をテーマに掲げ、「持続可能な地域づくり」に向けて、特色を活かした地域における公民館活動の充実・発展をより一層図ることを趣旨に、令和6年3月3日(日)午前10時から海南文化館で開催しました。

今年度は4年ぶりに、午後から分館交流芸能大会が実施され、午前の講演会と午後のアトラク



海陽町公民館 辻 芳昭館長

ションを行う二本立ての内容が復活した大会となりました。

開会行事では、まず海陽町公民館 辻芳昭館長が日頃の公民館活動へのご協力と、午前中の講演会と午後のお芸大会がコロナ禍前の状態に戻って開催できたことへの感謝の気持ちを述べられました。開会行事

の後に行われる「伝統芸能を生かした地域の活性化」をテーマとした講演会では、伝統芸能の継承についてのヒントを学び、

今年度から新設された海陽町伝統文化・地域活性化等の補助金制度を活用しながら、今後の公民館活動に活かして欲しいと呼びかけられました。

続いて、三浦茂貴町長が元旦に発生した「令和6年能登半島地震」について触れ、20年以内に60%程度の確立で

発生すると言われていた南海トラフ巨大地震に備え、公民館活動を通じた各自主防災組織の連携強化と実践的な防災訓練への協力をお願いされました。また、祭礼やそれに付随する文化の継承は、地域コミュニティを守る上で重要であるという視点から、海陽町伝統文化・地域活性化等の補助金制度を創設した経緯を



三浦茂貴町長



講演の様子



石井町中央公民館 社会教育指導員 片岡伸世氏

語られました。結びに本大会を契機に地域のつながりがさらに深まることを期待しておりますと、祝辞を述べられました

開会行事の後、石井町中央公民館、社会教育指導員の片岡伸世氏による「伝統芸能を活かした地域

の活性化」～「藍玉獅子」復活と継承の取り組み」と題する講演会を行いました。町内の公民館関係者を含め、約150名の皆様の参加を頂きました。

講演会では、地元の歴史風土に溶け込んだ特色を活かした「藍玉獅子」の舞が、どこを中核にした取り組みの一環として、高原地区の「藍玉獅子」の舞が、どのように復活・継承

してきたかの道筋を、スライドや動画を用いながら、分かりやすい説明で紹介していただきました。

江戸時代に、藩から藍づくりに重税を課せられた農民たちの一部が一揆（藍玉騒動（五社宮一揆））を起こして処罰された歴史背景を、人権学習の観点から、地元の高原小学校の児童に先生が紙芝居を作って学習を行い、獅子舞を復活させたこと。

その後、学習発表会の人権劇での獅子舞が6年生の伝統となり、地域の方に獅子舞を披露し、継承され続けていることや、地元の高原分館と高原小学校が、神社の承認と協力を得て藍玉獅子保存会を発足させたこと等々、地域づくりのための多くのヒントを学ぶことができました。卒業生が、後輩の6年生に獅子舞の指導

をするには、若者たちへの継承とともに、地域のリーダーを育てる大きなヒントがそこにあるのではないかと感じました。

今後、本町の伝統文化を継承していくために、どのようなルートで若者たちへそれを継承していくのか。その選択肢の一つに、学校と地域を繋ぐ公民館活動を考えてみたらよいのではないかと。伝統文化・地域活性化等補助金事業の有効活用に向けて、たいへん有意義な90分間の講演だったのではないのでしょうか。

（講演のより詳しい内容に興味のある方は、スライド上映に用いた資料がありますので、入手したい方はご連絡ください。）

午後の分館交流芸能大会も、最後まで多くの来場者が集まり、充実した公民館大会が開催できました。

▼問い合わせ：

海陽町公民館（海南文化館内）

電話 73-3100



左から
大東正人(浅川公民館)、成田愛治(川上公民館)、辻芳昭(川東公民館)、乃一俊治(海部公民館)
片岡伸世(講師 石井町中央公民館)、由木和幾(穴喰公民館)

分館の 活動紹介

清流海部川の中流に位置する神野地区は、昔から5月の端午の節句に合わせて、年中行事のこいのぼりを揚げています。

周辺の山々を背景に、勢いよく大空に舞い泳ぐ姿は壮観で、国道193号線を走る車の車窓から、綺麗な景観を見渡すことができます。

神野地区にあった川上小学校が廃校になったことが示しているように、近年、子どもの数が大きく減少し、現代ではこうした日本古来より伝えられてきた季節の風物詩を目にする機会が段々と少なくなりました。田園の風景とともに日本の伝統文化として守り、次の世代に継承していくことが望まれます。かつての小学生たちが、当時普通に見ていた光景が、ここでは今もなお続いていることを誇りにしたいと思います。

昨年度新たに創設された海陽町伝統文化継承・地域活性化等補助金は、本地域のこいのぼりを活用した地域のにぎわい作り事業の一部に充て、役立てています。購入した小型ウインチでの作業は、ワイヤーにこいのぼりをつるす際、作業の負



担軽減につながり、今後の事業の継承に活用していきたいと考えています。(不用なこいのぼりがあれば、提供してください。)

他にも、小正月の左義長行事を行っております。

神野公民館長 古川一喜

令和5年度 海陽町伝統文化継承・地域活性化等 補助金事業の活用事例紹介

今年度創設した海陽町伝統文化継承・地域活性化等補助金事業は、①**伝統文化継承・地域活性化** ②**地域的な共同活動** ③**その他**の3つの事業区分で実施いたしました。それぞれの代表的な事例について、次のとおり紹介します。

① 伝統文化継承・地域活性化
<ul style="list-style-type: none"> ・ こいのぼりを活用した地域のにぎわい作り 事業目的) 海部川を渡して揚げるこいのぼりの伝統文化（年中行事）の継承に努める。 （本号3頁参照） 補助金使途) 小型ウインチ購入 活用効果) 作業の負担が軽減され、今後の事業の継続が期待できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ひなの小町」地区活性活動 事業目的) 町並みを彩るひな祭りの伝統文化（年中行事）の継承に努める。（本号裏表紙参照） 補助金使途) 飾り用品（桜造花ほか）、お茶など購入 活用効果) 空き家の増加や高齢化が進む町並みを明るく元気づけられる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 盆おどり 事業目的) 慰霊踊りとして行われる伝統文化（年中行事）の継承に努める。 補助金使途) 提灯、ロープ、タオル、うちわ、い草敷物、飲み物など購入 活用成果) 地元民や帰省した方々が顔合わせする場とすることが期待できる。
②地域的な共同活動
<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境整備活動 事業目的) 公民館周辺の道や避難路などを地域住民が協力して清掃する。 補助金使途) 草刈り機、草刈り機刃、燃料、清掃道具、除草剤、ゴミ袋、飲み物など購入 活用効果) 地域の環境整備を、分館の共同作業として継続することが期待できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練 事業目的) 公民館活動の中に自主防災を意識づける。 補助金使途) テント、椅子、保存食など購入 活用効果) 非常食の場所の確認や試食等により、防災意識を高めることが期待できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会体育の振興及び町民相互の親睦 事業目的) 地域の高齢化に合わせ、作業し易い、使い易い備品を備え、親睦を深める。 補助金使途) テント、椅子、テーブルなど購入 活用効果) 単独分館では負担が大きい備品を、近隣の分館同士で共同購入できる。
③その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所運営訓練 ほか 事業目的) 実際に地震津波などの自然災害等が発生した場合を想定した訓練を行う。 補助金使途) 段ボールベッド購入 活用効果) 地域住民同士の間で共助意識を高め合うことが期待できる。

アトラクションの
オープニングに行われた、
能登半島地震
チャリティーピアノ演奏♪

能登半島地震災害への
チャリティー募金

59,241円

集まりました。
暖かいご支援を頂き、
ありがとうございます。



牟岐町在住のピアニスト 松村周作さん

公民館大会

分館交流芸能大会

2024年

3月3日(日)

開始 13:00 ~

芸能プログラム

開始 13:20 ~

出演者	種目	曲目/演目
穴喰団七踊り保存会 (穴喰)	民俗芸能	団七踊り
吉田 昌彦 他7名 (川東)	ダンス	サザエさんダンス
宮本 直樹・美紀 (川東)	カラオケ	カナダからの手紙
幸里 智重子 (浅川)	カラオケ	今も... セレナーデ
岡崎 美佐子 (川東)	カラオケ	南紀白浜はぐれ旅
申川 英夫 (川東)	カラオケ	人生夢桜
坂本 幸子 (川上)	カラオケ	きずな道
穴喰民踊クラブ (穴喰)	民踊	花笠音頭
ときわ会童謡クラブ (穴喰)	コーラス	ふるさとの色・汽車ポッポ
海南民踊クラブ (川東)	民踊	海陽町おどり
三浦 謙二 (海部)	カラオケ	漁師の妻

令和6年 能登半島地震 チャリティーピアノ演奏

※義援金の募金箱を海陽町が用意します。

演奏時間

13:00 ~ 13:20

演奏曲目

リスト
パガニーニ大練習曲集より
第3番『ラ・カンパネッラ』
ショパン
夜想曲 嬰ハ短調 遺作
スケルツォ第2番 変ロ短調作品31

ピアニスト

松村 周作
Shusaku Matsumura



1971年 兵庫県川西市出身
1994年 大阪音楽大学音楽学部
器楽学科ピアノ専攻卒業
1999年 ブルゴーニュ大学付属フランス語学科入学、
研鑽の傍ら学内外、フランス国内外にて
演奏活動を行う

交流 芸能大会

民踊



カラオケ



民踊



ダンス

コーラス



カラオケ



民俗芸能



大島花子

〜「うつくしい、命」より〜

人権コンサート



2月4日(日)午後2時から海南文化館ホールで、海陽町人権教育協議会主催の人権コンサート **大島花子「うつくしい、命」**

を開催しました。大島さんの父は歌手の坂本九さんで、父親の遺した楽曲を中心に、トークを織り交ぜながら、テーマの「うつくしい、命」をご自身の歌声と語りを通して伝えられました。

会場は満席に近い盛況ぶりで、華やかな青い衣装に身を包んだ大島さんの優しい物静かな語り口と歌声に魅了されました。ジョンレノンの曲「イマジン」の日本語バージョンから歌い始め、手話についての手解きにつづき、会場の皆さんといっしょになって無言の中での手話を実践し、言葉だけでは^{ほど}ない表現の多様性を学ぶことができたのではないのでしょうか。

会場からの質問時間も用意され、その中で父親との子ども時代の思い出話も聴くことができました。ステージの最後は、「見上げてごらん夜の星を」を熱唱されました。

今後も、坂本九さんの遺した楽曲を歌い伝え、命のうつくしさを考える時間を広げていただきたいと願う、すてきなコンサートでした。

地域コミュニティの中で

〈令和6年4月〉

―様々な体験や触れ合いの場において―

社会教育指導員 小泉 博



陽春の候、拓郎の「春だったね」なんかを口ずさみつつ、春色探しの散歩を毎朝楽しんでいきます。

知り合いに出会っていると、挨拶代わりに「最近どうで？」に対して、「ぼちぼちやな」「まあまあや」「普通や」と変わりなく元気という意味合いでのやりとりをよくします。ただその中の「普通」という言葉。決して普通という言葉を否定しているのではなく、その言葉の持つ意味や使い方しだいでは考えさせられる時があります。「歩く速さは普通」「ご飯の量は普通で」「普通に行動しなさい」など、普通にと言われても具体的に想像がつかず困惑してしまうときがあります。

普通の基準は人によって違います。私自身、同じような言い方を誰かにしながら、具体性がなく説得力がなかったと後で反省することがあります。また、

この普通という空気に浸ってしまい疑問を感じてもそのまま見過ごしている自分を自覚することもありません。

例えば、コロナ禍で社会が混乱している時、感染者や県外者・医療従事者等に対して排他的・攻撃的な状況が生まれ、人々とのつながりを大切にすることを脅かされている時期がありました。その時はそれがあたりまえかのように生活の中に広がっていたように思います。5類になった現在では「この前、コロナにかかったよ」と談笑する姿を見かけました。これが現在の普通？だとすれば、普通の基準は、時代や文化により変化し、正しいか正しくないかではなく、その場その時代を占めているその他大勢の人が出す空気によって決まるように思います。

徳島新聞に次のような記事が掲載されていました。『「情報リ

テラシー」という言葉がある。これは、情報を適切に理解、解釈して活用することである。情報リテラシーがないから普通を疑わないといわれている。「本当は違うかもしれない」と疑うよりも信じる方が簡単だからである。これからの情報は、まずは疑うこと。一つの情報だけでなく、複数の情報を取り入れ、自分で解釈・理解していくことが重要になってくる。』

また、近畿大学の熊本理抄教授は、『「沈黙」は加担すること。差別の現実、人権が大切にされていない状況があっても、多くが沈黙し見て見ぬふりをする。社会構造上、回り回って自分に返ってくる。沈黙者の多くがマジョリティ(多数派)の加担者となっている。自分の痛みに向き合い、生きづらさに気づき、自分の人権を知る。自分の人権を知れば、他者の人権を知ることにつながる、他者と協調することによって変化を生み出す。差別はいけないことは誰もが分かっているが、どうしても他者のことである。当事者と出会っていないため、現実化・寄り添うこ

とが出来ていない。当事者と出会うこと、かわること、現実と出会うことが、最も重要なこと。』と話されています。

80年前の戦争時代の空気、はじめの構造等、全て自分と関係があり、人権を基盤にせず沈黙しているといずれ…。

様々な人権問題も、それぞれの時代に生じる普通の中に「見えない壁」「心のバリア」が共同幻想として生まれ、根っここのところで「みんなと違う」と偏見を持ち、排除・差別につながり、根強く残り続ける要因になっているのではと思います。

人は弱く流されがちになります。いつの時代もこのような現象は生まれてくるかもしれませんが、子どもはいつも社会や大人を見て真似をしていきます。

世代や国を超えて様々な人がつながり合い、違いを認め合い、触れあう中で思いや痛みを共有できるコミュニティの場が本当に大切だと感じています。

次の文章は、カスミちゃんを取り巻く生活環境の一場面です。ご一読いただけましたら幸いです。

メガネと補聴器

文：吉岡たすく
絵：藤田あきら

はじめて、カスミちゃんを受け持った時、カスミちゃんのお母さんが来られて、

『先生、先生にちよつと聞いておいてほしいことがあるのですが、実はカスミは三歳の時、大病を患いました。その後遺症で、耳が聞こえにくくなりました。』

いろいろお医者さんにかかったのですが、どうしても、もとにもどりません。それで、お医者さんのおことばにしたがって、補聴器をつけました。小さいのにかわいそうと思いましたが、それより方法がありませんでした。聞くのには、何の不便もありませんが、いつも補聴器をつけていることを知っておいていただきたいと思ひまして・・・よろしく願ひします。』と、話されました。

カスミちゃんは髪を長くして、耳がかくれていたの、補聴器をつけているのが見えませんでした。

カスミちゃんは、ほんとにかるい子で、すぐく活発で、いつも友だちと元気にとびまわっていました。

六月のはじめの、ある日の放課後、カスミちゃんのお母さんが教室にられました。

『先生、今日カスミが髪を短く切ってくれと言いました。私がわけを聞きますと、『髪が長いと、遊ぶときにじゃまになるし、暑くなるしいから。』と言います。それを聞いて私が、

『髪を短くしたら、補聴器をしていることが見えるのよ。いやでしょう。誰も補聴器なんかつけていないのよ。』と言いますと『見えてもいいよ。私、平気だもん。耳が聞こえにくいから、補聴器をつけているんだもん。』と、カスミが申します。『でも、人に見られたら、はずかし



いでしよう。』と、私が言いますと、『はずかしいことなんかないよ。お母さん、(※目のわるい人は、メガネをかけているのよ。私は(※耳がわるいから、補聴器をつけているのよ。同じですよ。はずかしいことなんかないよ。』と言うのです。私はハッとしました。しばらくカスミの顔を見つめていました。カスミはニコニコ笑っているのです。そのカスミの顔を見て、髪を短くするのに

賛成しました。今、髪を短く切りました。

先生、このことを知らせておきたいと思ひましたので・・・。」翌日、カスミちゃんが短い髪で、さつそうと登校してきました。

私は学級の子どもたちに、お母さんから聞いた、カスミちゃんの話をしてきました。子どもたちは大きくうなずいていました。

※「目がわるい」「耳がわるい」という表現は、今では不適切な表現とされることが多いのですが、作品中の言葉であり、やむをえず残しています。(PHP)

【出典文献】

徳島県中学校人権教育研究会

「わたしの願ひ」

★令和6年4月、新学期の始まりです。

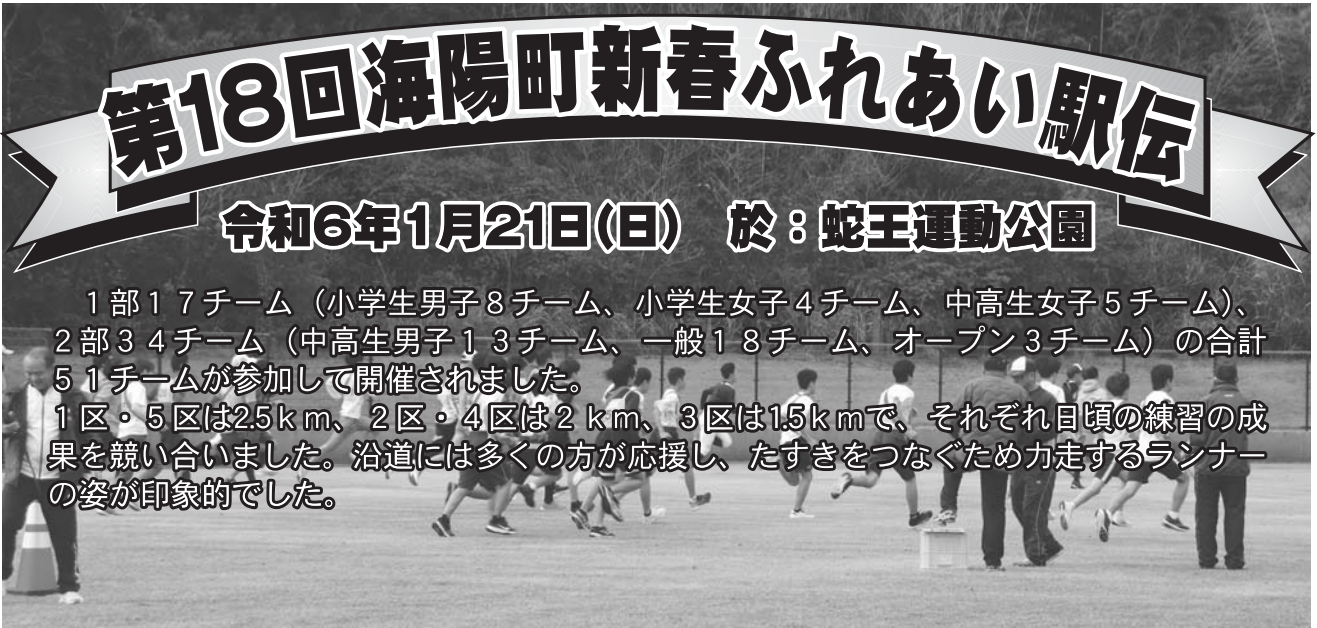
児童・生徒のみなさん、
ご入学・ご進級、
おめでとうございます。



第18回海陽町新春ふれあい駅伝

令和6年1月21日(日) 於：蛇王運動公園

1部17チーム(小学生男子8チーム、小学生女子4チーム、中高生女子5チーム)、2部34チーム(中高生男子13チーム、一般18チーム、オープン3チーム)の合計51チームが参加して開催されました。
1区・5区は2.5km、2区・4区は2km、3区は1.5kmで、それぞれ目頃の練習の成果を競い合いました。沿道には多くの方が応援し、たすきをつなぐため力走するランナーの姿が印象的でした。



【団体表彰】

○ 小学生男子の部

	チーム名	タイム (分:秒)
第1位	Fun F C A	44:00
第2位	Fun F C B	48:32
第3位	海南ホーンズ男子	49:08



○ 小学生女子の部

	チーム名	タイム (分:秒)
第1位	海南ホーンズ女子	50:49
第2位	穴喰杉の子	50:59
第3位	穴喰ジュニア	56:15

○ 中高生女子の部

	チーム名	タイム (分:秒)
第1位	The・Takahara	46:38
第2位	穴中girls	50:55
第3位	牟岐中女子	52:11

○ 中高生男子の部

	チーム名	タイム (分:秒)
第1位	牟岐中走者一掃	38:00
第2位	徹Jrs.	40:18
第3位	田穂Jrs.	40:45



○ 一般の部

	チーム名	タイム (分:秒)
第1位	藤ニキとその仲間たち	33:39
第2位	パンデババ	35:30
第3位	Bonちゃん's	36:59

【区間賞】

【1部】

○ 小学生男子の部

	チーム名	氏名	タイム (分:秒)
第1区	F u n F C A	坂本 風樹	9 : 0 3
第2区	F u n F C A	田中 結佑	8 : 3 7
第3区	F u n F C A	宮内 仁	6 : 3 6
第4区	F u n F C A	大黒 彩多	8 : 4 2
第5区	F u n F C A	志和 匡佑	1 1 : 0 2

○ 小学生女子の部

	チーム名	氏名	タイム (分:秒)
第1区	海南ホーンズ女子	勝浦なごみ	1 1 : 0 5
第2区	穴喰杉の子	上田 眞子	9 : 3 9
第3区	海南ホーンズ女子	加茂 花梨	7 : 0 4
第4区	穴喰杉の子	坂下香里那	8 : 3 8
第5区	海南ホーンズ女子	岸本 沙奈	1 2 : 3 4



○ 中高生女子の部

	チーム名	氏名	タイム (分:秒)
第1区	The・Takahara	西村 怜菜	9 : 1 9
第2区	牟岐中女子	白木 陽菜	9 : 2 2
第3区	いたる一ず☆	立石 彩葉	7 : 1 0
第4区	いたる一ず☆	竹内 結衣	9 : 2 0
第5区	The・Takahara	植本 恭加	1 0 : 1 4

【2部】

○ 中高生男子の部

	チーム名	氏名	タイム (分:秒)
第1区	牟岐中走者一掃	東田 大亜	8 : 1 8
第2区	牟岐中走者一掃	白木 海音	7 : 1 8
第3区	牟岐中打者走者	藤村 大要	5 : 2 1
第4区	牟岐中走者一掃	久 侑聖	7 : 2 6
第5区	徹Jrs.	濱口 和虎	8 : 5 2

○ 一般の部

	チーム名	氏名	タイム (分:秒)
第1区	藤ニキとその仲間たち	藤 柁貴	7 : 3 2
第2区	ゆるらんボーイズ	中川 高博	6 : 3 1
第3区	由岐中楽勝	大瀧 達也	3 : 5 9
第4区	藤ニキとその仲間たち	池内 渉平	6 : 2 8
第5区	藤ニキとその仲間たち	奥田 龍星	7 : 3 1



第2回 海陽町長杯グラウンド・ゴルフ大会

■日時：令和6年2月2日(金)

■場所：奥浦町民グラウンド

地域のグラウンド・ゴルフ熱が高まる中、海南・海部・穴喰の仲間の交流を深め、また、更なる発展のため、海陽町長杯が開催されました。

寒さが厳しい中、総勢83名が熱戦を繰り広げました！！



左から
西山体協会長、重清県議、三浦町長による始球式



左から、安田信夫さん(準優勝)
穴戸保夫さん(優勝)
濱承二郎さん(3位)



ホールインワン目指してティーショット

【成績結果】

		1ラウンド	2ラウンド	3ラウンド	ホール インワン	合計 打数
優 勝	穴戸保夫	13	20	17	4	50
準優勝	安田信夫	13	22	15	2	50
3 位	濱承二郎	15	19	17	3	51

※合計打数が同数の場合、ホールインワンの数の多い者が上位

第70回 四国卓球選手権大会

■日時：令和6年2月10日(土)・11日(日)

■場所：アミノバリューホール(鳴門県民体育館)



2位 竹森 伊佐代

四国卓球選手権大会通算20回出場で、個人の竹森伊佐代さん、団体の海陽町体育協会卓球部(皆津玉美・濱早百合・重田美種・由岐美代子・竹森伊佐代)が表彰されました。

【通算20回出場表彰】



令和5年度海陽町体協杯バドミントン大会

■日時：令和6年2月25日(日) ■場所：海陽中学校体育館

	優勝	準優勝		優勝	準優勝
男子1部シングル	清水 哉 汰	栗本 誠ノ介	男子1部ダブルス	清水 哉 汰 栗本 誠ノ介	古 川 歩 武 雲 圭 樹
男子2部シングル	熊谷 達人	三浦 健	男子2部ダブルス	吉山 英 藍 岡本 莉 莉	熊三 谷 達 人 熊三 谷 達 人
女子1部シングル	井岡 美咲	山本 怜奈	女子1部ダブルス	岡村 かお 久保 垂 季	島田 和 代 竹崎 紀 子
女子2部シングル	正木 咲帆	平岡 穂香	女子2部ダブルス	山下 成 美 山本 莉 乃	正平 咲 帆 岡 穂 香
男子・女子3部 シングル	松村 望愛	大山 莉衣紗	男子・女子3部 ダブルス	松村 望 愛 山本 沙 蘭	田内 結 垂 大山 莉 衣 紗



第23回フットサル大会海南カップ

■日時：令和6年2月25日(日) ■場所：奥浦町民体育館

海部郡内の6チームが参加（町内3チーム）し、白熱した試合を繰り広げました。町内チームは残念ながら優勝・準優勝とはなりませんでしたが、どの試合も真剣勝負で会場はおおいに盛り上がりました。



男子第53回・女子第31回 徳島県中学新人駅伝競走大会 結果

2月12日 鳴門・大塚スポーツパーク(周回コース)

【男子 (3 km)】

48位 穴喰 1時間13分42秒

(上田悠翔②、西尾來翔①、井上颯太①、小泉 純②、小南健太②、野村秋太郎②)

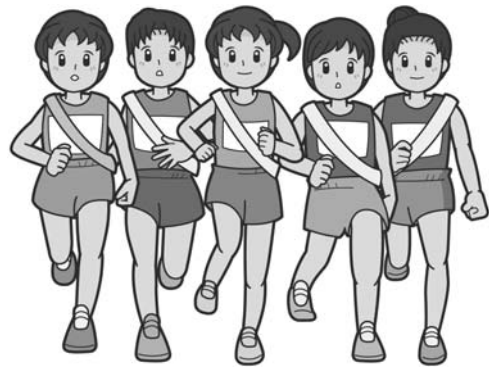
オープン 海陽 1時間09分02秒

(菅本晟孝②、野根比那太②、島田侑真②、大久保篤①、原 涼真①、森下颯柁②)

【女子 (1・5区3 km, 2~4区2 km)】

36位 海陽 57分54秒

(谷 彩寧①、松本莉奈①、西山璃桜①、
谷本暖子①、三浦美紅②)



四国地区スポーツ推進委員協議会 会長表彰

■令和6年1月21日(日) ■於：レクザムホール(香川県県民ホール)

地域において体育・スポーツの振興に顕著な功績があると認められ、若井孝司さん(活動年数23年)、大東正人さん(活動年数25年)が表彰されました。



左から大東さん、若井さん

徳島県スポーツ功労者表彰受賞

2月11日(日)、徳島グランヴィリオホテルにて徳島県スポーツ協会表彰式が行われ、横岡義人氏がスポーツ功労者表彰を受賞されました。

横岡氏は、20年以上にわたり少年野球の指導・育成に貢献し、二度の全国大会出場を果たされました。また、横浜DeNAベイスターズの森唯人選手をはじめ、多くの選手や指導者を輩出し、スポーツの普及・振興に寄与されました。

この度は誠にありがとうございます。これからも後進のご指導等よろしくお願い申し上げます。



わが町の史跡探訪

【冥福の碑 浅川の船頭 勘左衛門と小笠原島発見】

世界自然遺産 小笠原諸島(東京都小笠原村)は、かつては無人の島々であった。先史時代の遺跡は知られているが、一般には安土桃山時代の1593年(文禄2年)に、小笠原貞頼(さだより)が発見したとされていることから、小笠原が島の名称になっている。

ところが、島を発見した公式の記録として残されているのは、江戸時代の1670年(寛文9年)に、浅川の船頭であった勘左衛門ら船乗りたちが伊豆の下田奉行所に報告したのが最初であることは、世にほとんど知られていない。

発見の経緯を短くまとめると、寛文9年10月に、浅川港を出航した勘左衛門らに乗せた帆船が、紀州でみかんを積み、江戸へ廻送する途中、遠州灘(静岡県沖)で嵐に遭遇し、70日余り海の上を漂った末、現在の小笠原諸島の母島(ははじま)に漂着した。7人が乗船し、船頭の勘左衛門は直後に現地で命を落としたが、破損した船を造り直し、島を発った生存者により幕府へ伝えられたのだった。「小笠原島紀事」(1874年刊 国立公文書館所蔵)等に、経緯が詳述されている。

小笠原諸島の中心地、父島に冥福の碑が建つ。勘左衛門たちの功績を称え、江戸幕府が1862年(文久2年)に建立を認めた石碑である。勘左衛門のご子孫にあたる一家が、昨夏、小笠原へ旅行に行かれた際に、ツアーに加えて冥福の碑を訪れたことをお伺いした。発見から350年、石碑建立から160年余りの歳月の後、先祖に來着を報せることが叶った瞬間であった。



冥福之碑(複製)
(海陽町立博物館玄関前)

海陽幼稚園だより

ひなまつりたのしかったよ!



みんなで作ったおひなさまと「はいチーズ!」



おひなさま・おだいらさまに
変身して、ゲームをするよ。



かわいい? おひなさまとおだいらさまです。

海陽町小中学校ホームページ (HP) QRコード



海南小学校



海部小学校



穴喰小学校



海陽中学校



穴喰中学校

QRコードにアクセスすると、それぞれの小学校・中学校のホームページが閲覧できます。
各学校の取り組みや児童・生徒の活動の様子を是非ご覧ください。

海陽中学校3年生が卒業記念の植樹を行いました！



2月16日(金)の午後、海陽中学校3年生が卒業記念に、広い松原の中に、今年も皆でマツを植樹しました。参加した生徒たちの感想を少し、ご紹介します。

【参加した生徒たちの声】

- 「鍬を握ったのは人生初体験です。」
- 「ちゃんと育ててくれたら。意外と楽な作業だった。」
- 「初めてだけれど、作業で身体を動かすのは気持ちいい。」
- 「いっぱいあるところに植えて、どれも皆生長して行ってほしい。」
- 「楽しい。初めての作業で、失敗しないようにと不安でしたが、楽しい。」

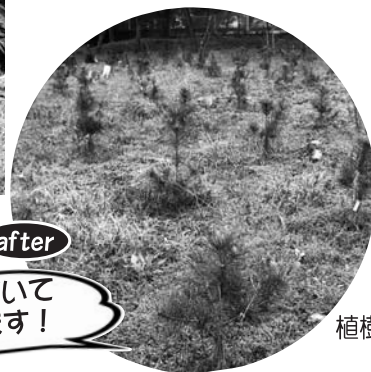


松の植樹 in 大里松原 “before & after”

ボランティアとして、たくさんの地域の方々に植樹を手伝っていただきました。その松の成長をこれからも見守り続けたいものです！



2022年(令和4)12月
1300本の松を植樹



2023年(令和5)12月に植樹した松

植樹から1年後の成長した松の姿
(2024年2月撮影)

穴喰俳句会 二月例会より

葉でぬぐう泥大根の白さかな	寺崎 照代
冬の朝チーズの溶ける音を待ち	朝賀ます美
俎始まづたつぷりの湯を沸かし	外山 千佳
初雪や赤子の寝顔ふつくらと	山本 球子
畦道の日だまりにおり冬の蝶	新井 駿也
ストーブのやかん鳴ってる午後のこと	梅田千恵子
長命の女の家系小正月	新井 久実
切株のまだ新しき四温かな	間戸谷恵子
ふる里は松原一里浜えんどう	長岡 達江
冬ざるる更地となりし友の家	川野 佳代
町裏に古き辻あり草の餅	元木 朱子
頬かむり漁に出ぬ日は海を見て	住 登美鶴
春近し階より望む臨港線	高戸 眞理子
枝を広げて正月の櫂 <small>けやき</small> の木	木下 野生

海南俳句会

左義長の残り火囲む長話	丈 雄
冬すみれ空の色して一つ咲く	な ずな
登校の生気みなぎる霜の道	利 之
おしゃべりは心の薬日向ぼこ	洋 根子
生徒等の植えし若松育ちけり	董 子
菜の花忌書棚に夫の読みし本	霜 月
路の薑苦さの中に母のこと	半 途
両手にずっしり初生りの橙	は やみ

海部俳句会

ガジュマルの背伸びすくすく春一番	南 歌子
立春や牛売られ行く目に涙	佐藤美代子
初蝶や悠然として在りにけり	穴戸道子
針が指す時刻阪神震災忌	川野 照美
冬眼鏡曇り止め尚曇る朝	穴戸 保夫
山寺の若木の梅に紅一点	麻 三
冬満月川の向こうは祖母の里	西本 公明

海陽短歌会

若葉風ゆるりと過ぎて頬杖をつきいるわれの目もそよがせり

土谷 公代

震災後容赦なく降る雪、雨に厳しき冬の北陸を知る

蛭子美恵子

石釜でご飯炊くそば土遊び幼の笑顔よガザは青空

栢岡 節子

室戸まで花見にゆこうときそわれる足の弱さを忘れうなずく

細野 綾子

城満寺の竹灯りながむる大晦日遠くで見ても近くもよろし

小笹 仁子

土起こし鍬を入れれば寒そうにトノサマガエルがこけ出たごめん

桑村 未貴子

北風の凍てつく中に春を呼ぶ百花に先がけ梅凜りんと

大久保スエ子

日を受けて玄関横のアロエ花みな天を指す紅い房して

藤川 はやみ

前回2月号(No.99)に、お名前の誤りがありました。

15頁：(誤) 奥村琥珀 ↓ (正) 奥村俐珀

同じく海陽短歌会の短歌の一部に、2カ所誤りがありました。

22頁：(誤) 鈴ヶ峯 ↓ (正) 鈴ヶ峰

(誤) 渋はむけたか ↓ (正) 渋はぬけたか

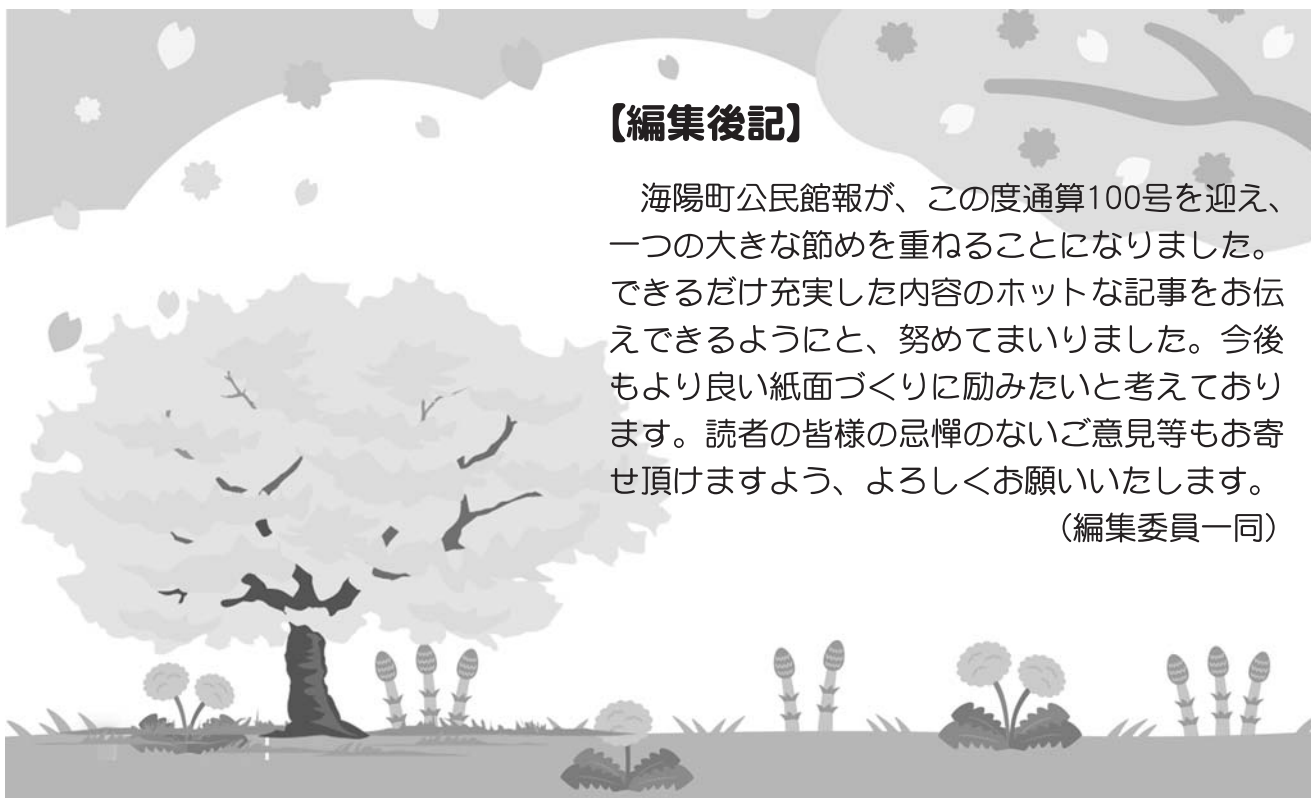
たいへん失礼いたしました。記してお詫び申し上げます。



【編集後記】

海陽町公民館報が、この度通算100号を迎え、一つの大きな節目を重ねることになりました。できるだけ充実した内容のホットな記事をお伝えできるようにと、努めてまいりました。今後もより良い紙面づくりに励みたいと考えております。読者の皆様の忌憚のないご意見等もお寄せ頂きますよう、よろしく願いいたします。

(編集委員一同)



ひなの小町

空き家の増加や高齢化が進む町並みを明るく元気づけるため、軒先に吊るし雛やお雛様をモチーフにした暖簾を飾り、「ひなの小町」と名付けた活動が有志により始められたのは2015年。今年も浅川地区の町並みは、赤や桃色で彩られ、町並みが一変しています。



ひなの小町の飾り付けは4月3日頃までです。